

(案)

第五次国有林野施業実施計画書

(渡島檜山森林計画区)

計画期間 (自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 3 2 年 3 月 3 1 日)

策定年月日 : 平成 2 7 年 3 月 日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	9
6	レクリエーションの森の名称及び区域	10
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	13
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	14
	(2) フィールドの提供	16
	(3) 森林共同施業団地	17

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

- (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
- (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

（単位：h a）

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	16,052	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	7,216	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	11,455	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	7,244	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
育成天然林施業群	43,553	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	針葉樹林	30年
			針広混交林	30年
			広葉樹林	35年
天然生林施業群	26,372	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	—	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	111,893			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。（以下の表についても同じ）

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	1,329	414	2,241	1,207	7,259	4,395

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地			臨時伐採量	計	林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計				
山地災害防止タイプ	44,594	(3,004) 202,306	246,900				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	8,327	(118) 8,000	16,327				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(3,052) 35,131 203,246	238,377				
	長期単層林	(335) -	17,436				
	複層林	(1,171) 116,435 75,642	192,077				
	混交林	(568) 7,515 35,493	43,008				
	育成天然林	1,907	-	1,907			
	天然生林	-	-	-			
	計	160,988	(5,126) 331,817	492,805			
合計	213,909	(8,249) 542,123	756,032	90,000	846,032	-	846,032
年平均	42,782	(1,650) 108,425	151,206	18,000	169,206	-	169,206

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
函 館 市	-	-	-				
北 斗 市	10,749	(591) 38,647	49,396				
福 島 町	2,143	(330) 25,199	27,342				
知 内 町	17,335	(284) 21,851	39,186				
木 古 内 町	14,726	(743) 51,770	66,496				
七 飯 町	34,743	(129) 11,036	45,779				
鹿 部 町	-	-	-				
森 町	36,515	(345) 25,691	62,206				
八 雲 町	6,478	(830) 67,391	73,869				
長 万 部 町	4,413	(355) 22,176	26,589				
江 差 町	-	(62) 1,259	1,259				
上ノ国町	30,565	(747) 44,401	74,966				
厚 沢 部 町	41,068	(1,481) 84,689	125,757				
乙 部 町	916	(277) 15,321	16,237				
奥 尻 町	762	(202) 13,151	13,913				
今 金 町	7,736	(546) 40,034	47,770				
せ た な 町	5,760	(1,328) 79,507	85,267				
合 計	213,909	(8,249) 542,123	756,032				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	4	-	-	-	98	101
	複層林造成	329	-	33	-	811	1,173
	計	333	-	33	-	909	1,275
天然 更新	天然下種第1類	12	-	5	-	87	103
	天然下種第2類	-	-	-	-	9	9
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	12	-	5	-	96	112
合 計		344	-	38	-	1,005	1,387

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	2,871	-	197	-	6,411	9,479
	つる切り	168	-	32	-	475	675
	除 伐	75	-	14	-	214	303

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
檜山森林管理署						
基幹	開設	上ノ国湯の沢	2127~2128, 2150~2151	2,400		上ノ国町
		青苗小倉川	2384~2385	2,200		奥尻町
	計	2路線		4,600		
その他	開設	カノコ右股	5098, 5214~5129	2,540		北斗市
		トンガリチリチリ線 林道尾刺支線	4002~4003	1,900		知内町
		出石コモナイ線林道 右股支線	4245~4248, 4253	4,000		知内町
		東萊出石線林道神馬 支線	4278~4279	680		知内町
		板谷堀	3150, 3160~3161	1,100		木古内町
		峠の沢	3161~3165	1,500		木古内町
		建有川チリチリ線	3192~3194, 3219, 4008, 4012	4,500		木古内町
		館泉沢中野線林道三 階滝支線	3054~3055, 3060, 3064	1,500		木古内町
		中の沢林道糠野越支 線	2178~2180, 2185~2187	2,000		上ノ国町
		中の沢林道糠野越支 線中ノ峰分線	2180~2185	2,700		上ノ国町
		中の沢林道太鼓沢支 線	2214~2218, 2221~2223	5,920		上ノ国町
		神明林道右股の沢支 線焼山分線	2239, 2246~2247, 2251, 3127, 3132	2,500		上ノ国町
		焼木尻田倉線林道須 賀の沢支線ウグイス 沢分線	538~539	1,200		厚沢部町
		館泉沢中野線林道糠 沢支線四隅沢分線	98, 109~117, 5198	7,600		厚沢部町
		峠の沢三角山線	506, 510~512	4,000		厚沢部町
計	15路線		43,640			
基幹	改良	中野湯の沢線	5225	62	1	北斗市、橋梁工
	計	1路線		62	1	
その他	改良	苦符林道沼の沢支線	2095, 2097	30	1	上ノ国町、橋梁工
	計	1路線		30	1	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
渡島森林管理署						
基幹	開設	冷水	7282~7284	2,200		八雲町
		上国縫川	402~408, 434	5,300		長万部町
		志文内花石線	4300~4306, 4309~4310	5,000		今金町
		金ヶ沢	5306~5307, 6066	1,800		せたな町
	計	4路線		14,300		
その他	開設	カリマ川林道第一支線	2105~2106, 2109~2110	3,300		七飯町
		桂川森濁川線林道澄川支線	1001, 1003~1005	6,000		森町
		赤井川林道第一支線	1171~1173	1,800		森町
		駒ヶ岳山麓線	1190~1196	3,300		森町
		南満河林道第一支線	265, 267, 283	3,000		八雲町
		南満河林道セイヨウベツ支線	282, 284~287	4,000		八雲町
		釜別林道沼上の沢支線	1003, 3123, 3125, 3127	2,400		八雲町
		見市雲石	7237, 7238	2,500		八雲町
		上国縫川林道ワルイ川支線	410, 415~416, 433~434	2,200		長万部町
		白石夏路連絡線	4373	1,000		今金町
		白石林道音虫内支線	4376~4377, 4379~4382	5,500		今金町
		長四郎小川牧場線	5374, 5381~5382, 5384	3,000		せたな町
		万助沢林道ミダレ沢支線	5346	1,000		せたな町
		ポン金ヶ沢林道バンノ沢支線	5289~5290, 5293~5297	6,000		せたな町
		番の沢猪岱線	5273~5275, 5280	3,000		せたな町
計	15路線		48,000			
基幹	改良	釜別	3099, 3101, 3160	260	6	八雲町、擁壁工
		紋別川	460	30	1	長万部町、橋梁架替
		真駒内川	5173, 5179	30	1	せたな町、橋梁工
	計	3路線		320	8	
その他	改良	ポン金ヶ沢	5290	35	1	せたな町、溝渠工
計	1路線		35	1		
森林計画区合計						
開設	基幹	6路線		18,900		
	その他	30路線		91,640		
	計	36路線		110,540		
改良	基幹	4路線		382	9	
	その他	2路線		65	2	
	計	6路線		447	11	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
檜山森林管理署				
6060林班	保全施設	溪間工	2箇所	北斗市
2152林班	保全施設	溪間工	1箇所	上ノ国町
2334・2340林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
4234・4246林班	保全施設	溪間工	1箇所	知内町
4079・4094林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1483林班	保全施設	溪間工	1箇所	乙部町
393林班	保全施設	溪間工	2箇所	厚沢部町
396林班	保全施設	溪間工	4箇所	〃
397林班	保全施設	溪間工	4箇所	〃
401林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
402林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
298林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
6010林班	保全施設	山腹工	1箇所	北斗市
4173林班	保全施設	山腹工	1箇所	福島町
2462林班	保全施設	山腹工	1箇所	奥尻町
渡島森林管理署				
1198林班	保全施設	溪間工	4箇所	森町
1199林班	保全施設	溪間工	1箇所	七飯町
1200林班	保全施設	溪間工	1箇所	鹿部町
1201林班	保全施設	溪間工	4箇所	〃
1051～1053林班	保全施設	溪間工	2箇所	森町
1127～1132林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
7499林班	保全施設	山腹工	1箇所	八雲町
5418林班	保全施設	山腹工	2箇所	せたな町
5419林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
5420林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
5060林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1198～1201林班	保安林の整備	植栽工	5 ha	森・七飯・鹿部町
森林計画区合計	保全施設	溪間工	37箇所	
		山腹工	9箇所	
		計	46箇所	
	保安林の整備	植栽工	5 ha	
		本数調整伐	ha	
		計	5 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	渡島森林管理署				
	狩場山地須築川源流部 森林生態系保護地域 (保存地区)	既設	2,732.29	別表参照	我が国におけるブナ森林帯の北限近くに位置するため、自然環境の維持及び動植物の保護、遺伝資源の保存並びに学術研究等に資する。
	(保全利用地区)		1,408.04		
	計		1,324.25		
	森林計画区計 (保存地区)	1箇所	2,732.29		
(保全利用地区)		1,408.04			
林木遺伝資源保存林	檜山森林管理署				
	函館ミズナラ、クリ、カツラ、ハリギリ、トチノキ、トドマツ 林木遺伝資源保存林	既設	31.85	別表参照	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する。
	函館サワグルミ8 林木遺伝資源保存林	既設	5.50	別表参照	
	函館ヒノキアスナロ12 林木遺伝資源保存林	既設	18.50	別表参照	
	渡島森林管理署				
	函館ウダイカンバ5 林木遺伝資源保存林	既設	10.74	別表参照	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する。
	函館シナノキ、イタヤカエデ、ミズナラ、アオダモ9 林木遺伝資源保存林	既設	11.60	別表参照	
森林計画区計	5箇所	78.19			
植物群落保護林	檜山森林管理署				
	鶉川 保護林	既設	321.27	別表参照	ゴヨウマツ自生の日本海側の北限として、学術上の価値が高い。
	楨川 保護林	既設	498.60	別表参照	ヒバ(ヒノキアスナロ)、アオトドマツ天然林の保存。
	奥尻 保護林	既設	2,285.33	別表参照	離島のブナ林の北限として、学術研究等に資する。
	チリチリ川 保護林	既設	138.14	別表参照	ブナ天然生優良林分の保護。
	千軒岳 保護林	既設	958.05	別表参照	北海道最南端の高山帯において、高山性植生と低山性植生が雪田に混成状態で見られ、地域の自然を代表するものとして保護を図る。
	ムズルセ川 保護林	既設	0.90	別表参照	トドマツ自生南限の保護。
	渡島森林管理署				
	国縫 保護林	既設	33.25	別表参照	アカエゾマツ自生南限の植物学的考証。
ガルトネル 保護林	既設	0.38	別表参照	ブナ人工林の保存。	

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
植 物 群 落 保 護 林	種川 保護林	既設	12.88	別表 参照	トドマツ天然林の植物学的考証。
	若松 保護林	既設	66.53	別表 参照	貴重な天然のトドマツの保存に資する。
	ヒノキアスナロ分布 北限地保護林	既設	13.00	別表 参照	ヒバ(ヒノキアスナロ)自生の北限地帯に位置することから、個体の維持を図り学術研究等に資する。
	森 林 計 画 区 計	11箇所	4,328.33		
特 定 地 理 等 保 護 林	渡島森林管理署				
	美利河温泉鍾乳洞 保護林	既設	5.00	別表 参照	鍾乳洞を形成していることから、その特異な地形、地質等の保護を図り学術研究に資する。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	5.00		
森 林 計 画 区 合 計		18箇所	7,143.81		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
自然休養林	檜山森林管理署									
	恵山 自然休養林 (探勝ゾーン)	既設	433.39	別表参照	活火山の特異な山容等、登山ハイキング等に最適である。	天	園地外 (国、地方公共団体)	歩道延長 12,807m 外	保健機能に該当する森林	
	渡島森林管理署									
	美利河・二股 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	709.87	別表参照	森林、湖、温泉等レクリエーション資源が良好に保全されている。これらの資源を活かし、登山、ハイキング、ピクニック、自然探勝、自然観察、温泉浴等四季を通じた利用が行われている。	単 複 天	園地外 (国、地方公共団体)	歩道延長 7,481m 外		
	駒ヶ岳 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	1,265.98	別表参照	活火山の雄大な山容と湖沼の調和が美しく、登山、自然探勝に最適である。	複 天	園地外 (国)	歩道延長 4,600m 外		
狩場山 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	413.79	別表参照	自然環境の保全に重点を置き、レクリエーションの森にふさわしい保健休養林、自然科学、情操教育の場としての利用を図る。	天					
森林計画区計		4箇所	2,823.03							
自然観察教育林	檜山森林管理署									
	茂辺地 自然観察 教育林	既設	160.35	別表参照	景勝地である盤の沢を核として森林内の散策路や樹木園が整備され函館近郊の住民が森林とふれあう場所として親しまれている。バリアフリーの森林散策路も一部整備されており、これらの資源を活かして幅広い層を対象に自然観察や自然探勝の場としての利用が見込まれる。	単 複 天 主伐 5.14 ha 間伐 9.60 ha	歩道外 (国)	歩道延長 7,853m 外		
森林計画区計		1箇所	160.35							

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
野外スポーツ地域	渡島森林管理署									
	七飯・大沼 野外スポーツ 地域	既設	148.70	別表 参照	都市近郊に所在し 雪質が良好で、交通 機関及び道路が整備 されている。	単 複 天 主伐 26.48 ha 間伐 6.81 ha	ゲレンデ コース (民間)			
	美利河 スキー場 野外スポーツ 地域	既設	124.73	別表 参照	冬期のスキー利用 を主体としている が、春から秋の三 シーズンはパークゴ ルフ等の野外スポー ツ、また林内の自然 探勝等レクリエー ションの利用をして いる。	単 複 天	ゲレンデ コース外 (地方公 共団体)			
森林計画区計		2箇所	273.43							
風景林	檜山森林管理署									
	笹山 風景林	既設	956.94	別表 参照	森林、溪流、山岳 などのレクリエー ション資源が良好に 保存されている。こ れらを活かして自然 探勝、ハイキング、 登山等の利用を図 る。	複 天	歩道 (国)	歩道 延長 8,000m		
	七ツ岳 風景林	既設	399.88	別表 参照	森林、溪流、山岳 などのレクリエー ション資源が良好に 保存されている。こ れらを活かして自然 探勝、ハイキング、 登山等の利用を図 る。	複 天	歩道外 (国)	歩道 延長 3,510m 外		
	縁桂・乙部岳 風景林	既設	1,620.29	別表 参照	巨樹・巨木100選 に選定された縁桂の ある中心区域はイベ ント等に数多く利用 されている。また、 これを囲む乙部岳一 帯の森林には新緑か ら紅葉、雪景まで四 季を通じて景観美を 楽しむために多くの 人が訪れる。	単 複 天 間伐 26.68 ha	歩道外 (国、地 方公共団 体)	歩道 延長 13,147m 外		
	大千軒 風景林	既設	466.08	別表 参照	森林、溪流、山岳 などのレクリエー ション資源が良好に 保存されている。こ れらを活かして自然 探勝、ハイキング、 登山等の利用を図 る。	天	歩道外 (国、地 方公共団 体、民間 団体)	歩道 延長 6,500m 外		

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風景林	渡島森林管理署									
	熊尻 風景林	既設	425.22	別表参照	真駒内川流域の渓谷美と春の新緑、秋の紅葉を求めて訪れる人が多く、また、溪流釣でも人気がある。狩場山の登山口にもなっておりレクリエーション地域を形成している。	複天 間伐 30.72 ha	園地外 (地方公共団体)			
	相沼湖 風景林	既設	106.94	別表参照	森林、溪流、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	複天				
	臼別 風景林	既設	673.17	別表参照	森林、溪流、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	単複天 間伐 24.35 ha	車道外 (国、地方公共団体)	車道 延長 6,100m 外		
	熊石 風景林	既設	583.76	別表参照	森林、溪流、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	単複天	車道外 (国、地方公共団体)	車道 延長 3,800m 外		
森林計画区計		8箇所	5,232.28							
風致探勝林	渡島森林管理署									
	八雲温泉 風致探勝林	既設	239.61	別表参照	八雲町営保養施設の開設を契機として、四季を通じた温泉浴、登山、自然探勝の野外レクリエーションの利用に親しまれている。	複天	歩道 (国)	歩道 延長 2,930m	保健機能森林に該当する森林	
	鳥崎 風致探勝林	既設	185.41	別表参照	溪流とダム湖と森林の調和が美しく、鳥崎八景等風光明媚である。	単複天 主伐 3.94 ha 間伐 5.57 ha	園地外 (国、地方公共団体)	車道 延長 380m	保健機能森林に該当する森林	
	貝取澗 風致探勝林	既設	327.48	別表参照	背景林、近景林、遠景林として新緑、紅葉の季節における自然観察型、野外スポーツ型のレクリエーション利用を図る。	複天	車道外 (国、地方公共団体)	車道 延長 4,300m	保健機能森林に該当する森林	
森林計画区計		3箇所	752.50							

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他の森施設敷	渡島森林管理署								
	立象山園地施設敷	既設	2.90	別表参照	立象山公園として親しまれ、付近の海水浴場と併せて地元住民の憩いの場として利用されている。		キャンプ場外(地方公共団体)		
	森林計画区計	1箇所	2.90						
	森林計画区合計	19カ所	9,244.49						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考	
遺 伝 子 保 存 林	檜山森林管理署				材木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。	
	トドマツ檜山	昭和45年	3.00	319 ほ		
	ヒバ江差	昭和60年	2.08	2063 と		
	スギ松前B	昭和50年	1.89	3181 ろ		
	スギ松前C	昭和51年	5.00	3080 は1		
	スギ木古内B	昭和50年	2.47	3181 に		
	ブナ木古内	昭和59年	12.68	4017 へ		
		計	17.56	4019 と		
	計		30.24			
	渡島森林管理署					
	ウダイカンバ八雲	昭和62年	7.00	155 と1		
	ドロノキ八雲	平成2年	1.00	434 つ		
	キタゴヨウ函館A	昭和51年	0.44	1044 ほ		
	キタゴヨウ函館B	昭和51年	2.31	1044 へ		
	キタゴヨウ函館C	昭和51年	0.33	1044 と		
	キタゴヨウ函館D	昭和51年	0.92	1097 と		
	キタゴヨウ函館E	昭和51年	1.84	1191 と		
	キタゴヨウ函館F	昭和51年	1.69	1191 ち		
	トドマツ東瀬棚A	平成6年	3.00	5206 ろ1		
	トドマツ東瀬棚B	昭和50年	3.00	5288 へ1		
ヒバ乙部	昭和60年	1.80	7249 と			
森林計画区計	17箇所	68.01				
検 定 林	檜山森林管理署				試植検定林は、外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等の検定する林分である。 地域差検定林は親木の評価を目的に子供群を植栽し、親木間に現れる形質上の優劣差を検定する林分である。 遺伝試験林は精英樹及びそれらの人工交雑種によって育成された林木の形質に関する遺伝的特性を解明する林分。	
	北函5号(地域差検定林)	昭和62年	0.95	4237 い		
		計	3.21	4237 ろ		
	計		4.16			
	北函6号(地域差検定林)	昭和62年	4.10	520 に		
	渡島森林管理署					
	北函1号(遺伝試験林)	昭和56年	3.45	337 に		
	北函3号(一般検定林)	昭和59年	0.92	1024 へ		
	北函4号(遺伝試験林)	昭和61年	2.75	4121 よ		
		計	2.17	4121 た		
	計		4.92			
	北函7号(地域差検定林)	昭和63年	4.00	344 ろ		
	北異郷函1号(試植検定林)	昭和38年	9.28	2126 ほ		
	北異郷函2号(試植検定林)	昭和39年	5.20	2125 ほ		
	北異郷函3号(試植検定林)	昭和40年	4.12	2131 に		
北異郷函4号(試植検定林)	昭和41年	5.52	2131 は			
北異郷函6号(試植検定林)	昭和42年	7.05	2131 ろ			
森林計画区計	11箇所	52.72				
施 業 指 標 林	檜山森林管理署				積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である。	
	ミズナラ二次林 施業指標林	昭和59年	9.67	340 に1		
	ブナ二次林 施業指標林	昭和59年	10.33	519 に		
	スギ複層林 (スギースギ) 施業指標林	昭和57年	5.15	1481 わ		
	ブナ天然林施業 指標林	昭和63年	1.01	372 い		
		昭和59年	0.58	2204 へ		
			2.39	2204 と		
			0.24	2204 ち		
			0.66	2204 り		
			1.48	2204 ぬ		
			0.14	2204 か		
0.12	2204 よ					
計		5.61				

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考		
施業 指標 林	渡島森林管理署				積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である。		
	ウダイカンバ 人工林間伐 施業指標林	昭和63年	9.66	1075 い			
	カンバ天然林 施業指標林	昭和63年	0.92	4120 ち			
	森 林 計 画 区 計	6箇所	42.35				
試 験 地	檜山森林管理署				天然生林の成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため。		
	成長量試験地	昭和27年	1.10	205 に			
		計	1.12	208 ろ			
		昭和27年	0.22	2023 ほ			
		計	1.34	2144 る			
	トドマツ人工林 収穫試験地	昭和38年	1.10	1413 に			
		昭和39年	1.08	544 は			
	カラマツ人工林 収穫試験地	昭和40年	0.74	2183 に			
		昭和41年	1.10	75 に			
		昭和42年	1.10	4248 わ			
		昭和43年	1.10	3146 に			
	ヒバ実験林 試験地	昭和50年	2.08	2063 と		森林構成群を基礎とする天然林施業。	
	函館トドマツ 産地別試験地	昭和42年	1.48	5130 へ			
			1.48	5130 と			
		計	1.46	5130 ち			
	ミズナラ優良種苗 実証試験地	平成12年	0.08	2022 そ			
			0.10	2022 つ			
	計	0.18		母樹別種子の遺伝的特徴から優良系統を選出。			
	渡島森林管理署						天然生林の成長量、枯死量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため。
	成長量試験地	昭和25年	0.69	5214 た			
トドマツ人工林 収穫試験地	昭和37年	0.60	2094 お				
	昭和39年	1.08	449 ほ				
カラマツ人工林 収穫試験地	昭和42年	0.96	2137 い				
	昭和43年	1.10	1169 ろ				
人工林樹下植栽 試験地	昭和51年	0.20	1032 ち				
		2.38	1032 ぬ				
計	2.58		カラマツ人工林を列状間伐した後トドマツを植栽し、カラマツ上層木が下層木に与える影響を調査し、施業の指針を得る。				
森 林 計 画 区 計	10箇所	23.69					

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備 考
モデル林	檜山森林管理署				
	砂坂海岸国土保全モデル林	平成12年	87.79	別表参照	砂坂海岸の国土保全機能を重視した防災林造成(飛砂防止)。
	楸川国土保全モデル林	平成12年	5.56	別表参照	土砂の河川への流出防備等国土保全機能を重視したヒバ天然林施業。
	稲穂峠国土保全モデル林	平成12年	10.49	別表参照	土砂の河川への流出防備等国土保全機能を重視したブナ天然林施業。
	姫川水源涵養モデル林	平成12年	5.15	別表参照	上水道の水源域の水源涵養機能を重視した複層林施業。
	渡島森林管理署				
	大沼水源涵養モデル林	平成12年	6.48	2111 わ	大沼の水源地域の水源涵養機能と景観の保全等を重視した複層林施業。
森林計画区計		5箇所	115.47		
森林計画区合計		56箇所	302.24		

種類	名 称	設定年	設定延長 (m)	位置 (林班)	備 考
溪プロジェクト保全林	檜山森林管理署				
	モデル溪畔林流域(チリチリ川)	平成26年	7,300	4001~4007, 4009, 4017~4025, 4027	上流域に位置する保護林等を核とした原生的な天然林から下流までの森林の連続性を確保することにより、よりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めるため、検証を行いつつ取組を推進する森林である。
	森林計画区計	1箇所	7,300		

注) 設定延長はモデル河川の流路の延長である。

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
檜山森林管理署		
2034 わ1	木の文化を支える森 (檜山古事の森)	協定面積5.00ha 檜山古事の森育成協議会
545い~お、イ~チ	遊々の森 (なかよし海岸林)	協定面積87.79ha 江差町立江差北小学校
4001い~ほ、な、む1、む3、の	遊々の森 (しりうち新世紀の森)	協定面積8.60ha しりうち緑の少年団育成会
森林計画区合計		面積: 101.39ha

(3) 森林共同施業団地

名称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考
檜山森林管理署				
厚沢部町清水地域森林整備推進協定	民	75~78, 80~82, 95~97, 101	333haの森林整備と作業路網の整備	厚沢部町
	国	429~441		
森林計画区合計	民		1箇所	
	国			
	計			